

# 令和8年度第24回全道高等学校文芸研究大会文芸コンクール応募要項

## 1 趣 旨

全道の文芸活動をしている高校生を対象に、文芸創作活動の振興と、創作技術の向上を図ることを目的とする。(本コンクールを「全道コンクール」と以下の要項内で表記する。また、本コンクールは、次年度に開催される「全国高等学校総合文化祭」(総文祭)、および「全国高等学校文化連盟 北海道・東北文芸大会」への推薦作品(生徒・学校)の選考を担うものである。)

## 2 主 催

北海道高等学校文化連盟文芸専門部

## 3 応募資格

- (1) 北海道高等学校文化連盟に加盟している高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校(第3学年までに限る)の生徒であること。
- (2) 支部大会の各部門で入賞した個人および団体であること。
- (3) 支部大会を実施していない地区については、専門部が別途審査し、推薦を受けた個人および団体とする。
- (4) 上記に定める生徒以外の場合は、専門部が別途審査し、審査結果は当番校事務局から連絡する。

## 4 応募部門

部門・応募可能作品数・字数の規定に関しては、**同年度の全国コンクール**の要項に準ずる。

ただし、全道コンクール独自の規定として、以下の点に注意する。

- (1) 詩部門は1作品につき、400字詰め原稿用紙5枚程度までが望ましい。
- (2) 部誌部門に応募する文芸部誌は令和7年10月1日から令和8年8月4日(全道コンクール作品応募締め切り日)の間に発行されたものとする。

## 5 応募のきまり

- (1) 未発表の作品を原則とする。ただし、令和7年10月1日以降に発行された「文芸部誌」「生徒会誌」「学校新聞」「図書館報」など、校内で発表された作品、または一定の私的なグループ内でしか閲覧できないSNS・ブログ等で発表した作品は可とする。不特定多数の人が見ることのできるネットやSNS上に掲載・発表した作品は不可とする。
- (2) AIを**創作**に使用した作品は、不可とする。
- (3) — i 文芸専門部の支部がある場合、各支部で各部門に出品し、全道への出品が認められた作品に応募すること。応募作品は、各支部で作品を取りまとめ、全道コンクールの形式に則り審査用データ・原稿を送ること。以下の(4)(5)(6)を参照のこと。

- ii 文芸専門部の支部がない地域の文芸部等は、各校から直接全道コンクールの形式に則り審査用原稿を送ること。以下の（４）（５）（６）を参照のこと。

#### （４）作品応募に関する提出物

以下の①～③を提出すること。

※提出のしかたについて

①②は、支部コンクールがある支部では、各校顧問から支部代表専門委員に提出し、支部代表委員が取りまとめて文芸専門部事務局次長に提出する。

③は、各校から直接文芸専門部事務局長に郵送または持参する。

支部コンクールがない支部、支部がない地域の高校からは各校顧問が①～③を直接、文芸専門部事務局に提出する。

（※①～③は全て、（支部コンクールを経て）全道コンクールへの出品が認められた作品に限る。支部で全道への出品が認められなかったものが混入しないように注意すること。）

#### ①応募作品一覧表（Excel）【※全応募校が提出】

- ・全道大会の当番校（今年度は室蘭清水丘高校）ホームページより、書式をダウンロードして使用する。
- ・必要事項を全て記入し、タイトルを「応募作品一覧表\_\_支部名（または学校名）」としてメール添付で提出する。

#### ②小説・文芸評論・随筆・詩・短歌・俳句各部門作品データ（Word）【※該当部門を提出】

- ・全道大会当番校（今年度は室蘭清水丘高校）ホームページより、書式（サンプル〇〇）をダウンロードして使用する。（書式の使用方法是下記手順1～4参照）

1. 書式はそれぞれダウンロード後、まず「サンプル（全般）」を参考に入力に関する全般のルールについてご確認ください。
2. その上で、各部門の書式〔サンプル（小説）・サンプル（文芸評論）・サンプル（随筆）・サンプル（詩）・サンプル（短歌）・サンプル（俳句）〕に記載されたルールに則り、応募作品をご準備ください。
3. 書式（フォント、ポイント、記載事項等）も必ず各サンプルに従ってご準備下さい。  
（応募作品は書式を合わせる点からも、部門ごとのサンプルに、サンプルの書式を維持した状態で応募作品を貼り付けることをお勧めします。）
4. 提出前に注意事項の記載された吹き出しを必ず消してください。

- ・部門毎に別ドキュメントとして作成すること。ドキュメントはタイトルを「部門\_\_支部名（または学校名）」としてメール添付で提出する。

（例：小説\_\_石狩（支部による取りまとめがある場合）、小説\_\_小樽潮陵（支部のない高校の場合））

- ・プリントアウトしたものや原稿用紙での郵送・持ち込みは認めない。

**③部誌（現物）【※前述「4 応募部門」の期間に発行したものがあれば提出する。】**

- ・文芸部誌部門のみ、現物 2 部を事務局校へ提出する。データによる提出は認めない。

郵送か、期日までに提出先（事務局校）に持参も可。

- ・全道応募票（A 4 表裏 1 枚のもの）を挟み込む。

**【提出先】**

**①②……………北海道高文連文芸専門部事務局次長あて**

北海道大麻高等学校 北海道高等学校文化連盟文芸専門部

事務局次長 奥 本 将 晴

送信先Eメールアドレス [oku-foot@hokkaido-c.ed.jp](mailto:oku-foot@hokkaido-c.ed.jp)

**③……………北海道高文連文芸専門部事務局長あて**

送付先住所 〒001-0025 北海道札幌市北区北 2 5 条西 1 1 丁目 1

宛名 北海道札幌北高等学校 北海道高等学校文化連盟文芸専門部

事務局長 櫻 庭 亨

**【提出締切】**

**①②③ともに 8 月 4 日(火)17 時必着！**

(5) 点字による作品は、墨字訳を所定の書式（(4) の②）に収め、送付すること。

(6) 作品は返却しない。

## 6 出 品 料

- ・作品出品料 1 名につき 3,000 円 ※作品数・部門数を問わない
- ・文芸部誌出品料 1 校につき 3,000 円
- ・出品料振込先

室蘭信用金庫（金融機関コード 1003） 小橋内支店（店番 007）  
普通預金 5862917 室蘭清水丘高校当番校 会計 今井 真  
(ムラサミズガカコウコ トウバンコウ)

## 7 審 査

応募作品の審査は、以下の者が担当する。

- ・北海道高等学校文化連盟文芸専門部で委嘱した専門家
- ・北海道高等学校文化連盟文芸専門部専門委員

## 8 賞

部門ごとに、原則として下記の賞を与える。

- (1) 最優秀賞……1名
- (2) 優秀賞……2～3名
- (3) 優良賞……若干名

短歌・俳句部門については、3首・3句以上10首・10句以内の応募とするが、連作とはみなさず各歌・各句独立して審査の対象とする。

なお、文芸部誌部門については、(1)(2)(3)に該当する賞を「金賞」「銀賞」「銅賞」とする。

また、部誌部門「金賞」受賞校の中から特に優れたものを1校「最優秀金賞」として選出し、それに次いで優れた数校を「優秀金賞」として表彰する。

~~~~~

困ったら……問い合わせ先（問合せは、担当教員を通じて行うこと。メールを推奨）

※ 全道大会参加・全道コンクール応募の事務作業については、別添「**参加業務の手引き**」も参照してください。

### ●全道文芸研究大会に関して 大会当番校

北海道室蘭清水丘高等学校（担当：宮崎香代子）

Eメールアドレス miyazaki\_k@hokkaido-c.ed.jp

TEL：0143-23-1221 FAX：0143-23-1746

ホームページ <https://www.muroranshimizugaoka.hokkaido-c.ed.jp/>

### ●全道作品コンクールに関して 北海道高文連文芸専門部事務局

主に①②について・・・北海道大麻高等学校 担当：文芸専門部事務局次長 奥本 将晴

Eメールアドレス oku-foot@hokkaido-c.ed.jp

TEL：011-387-2143 FAX：011-387-1662

主に③について・・・北海道札幌北高等学校 担当：文芸専門部事務局長 櫻庭 亨

Eメールアドレス 443178@hokkaido-c.ed.jp

TEL：011-736-3191 FAX：011-736-3193